

令和3年度 事業報告

1. 概要

我が国が超高齢社会に向かって急速に歩みを進めている中で、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められております。

一昨年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな影響を受け、シルバー事業においても会員数や契約額が減少するなどの大きな影響が出ています。

このような厳しい状況の中、仲善広域シルバー人材センターは、コロナ禍の中での新たな就業拡大と減少傾向にある会員確保などの取り組みを強化し、独自に地域性を生かした「中長期計画」に沿って、業績悪化を最小限に止めて安全就業指針など就業環境の見直しと適正就業、事務改善を中心とした組織改革を進めて一応の成果を得ることができました。

一方、独自ボランティア事業である高齢者移動販売「ちょこっと号」は、コロナ禍の中、一人暮らしの高齢者へのサービスを継続しておりました。民間コンビニ業者の同事業への参入により、行政コストの見直しと、コロナ禍における買い物バスをはじめとする福祉サービス事業の一時見直しにより、本年度をもって事業廃止という結論に至りました。

しかしながら、高齢者生きがいサロン「仲善広場」は非常事態宣言・まん延防止重点措置期間を除き、昼食を持ち帰りの弁当に切り替えるなどして奉仕活動を継続して行い、基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、地域の高齢者が長年培った知識・経験・技能を地域で生かし、「地域のお役立て」を掲げたシルバー人材センターの構築に努めてまいりました。

令和3年度の実績を見ますと、全国的な会員数の大幅な減少傾向の中、年度末会員数は1,011人で前年と比べ33人の減少となっています。

対前年度比は、受託・派遣と合わせて受注件数が増加し、契約金額は、昨年並みの微減となりました。コロナ禍の中ではあったものの従事会員に重症罹患者を出すことなく計画通りの成果となりました。

また、会員数の維持・女性会員確保のため、引き続き各地区センターでの説明会を各月3回の開催、構成市町社会福祉協議会の「社協だより」へ年間を通じて広告を掲載し、「女性のつどい」については、第6派の新型コロナまん延防止重点措置期間のため、やむなく中止することとなりましたが、構成市町の広報紙に毎月入会案内の掲載など普及啓発に努め、発注者や会員へのアンケート調査を基に、地域ニーズを掌握してシルバー事業運営に反映させました。

以下、主な事業活動について報告いたします。

I シルバー人材センター事業

1 請負・委任による就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図ると共に、活力ある社会づくりに寄与するため、臨時的短期的な仕事の就業機会を提供すると共に、多くの会員が就業機会を得

られるよう努めました。

2 職業紹介事業

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務を希望する高齢者に職業紹介をすることにより社会参加の喜びや、生きがい対策を図れる機関としての役割を果たすため、引き続き職業斡旋事業を取り組みました。

3 労働者派遣事業

香川県シルバー人材センター連合会仲善広域事務所として、派遣労働を希望する会員を対象に、労働者派遣による就業機会の提供に努めました。

4 講習会の開催

高齢者の資質の向上のための技能、技術、知識の取得やサービスの向上を図るため、より広い分野での仕事の確保と提供を目的として香川県シルバー人材センター連合会主催の技能講習会、またセンター主催の講習会を開催しました。

講習会の開催

・刈払機作業安全衛生講習会	延 15 名	・造園（植栽・剪定）講習会	延 78 名
・自動車運転技能講習会	延 47 名	・清掃スタッフ講習会	延 14 名
・高齢者向けの料理講習会	延 18 名	・刈払機取扱講習会	延 4 名
・スマホ講習会	延 80 名	・介護施設調理補助講習会	延 16 名

5 普及啓発活動

シルバー事業の理念を周知し信頼を得られるよう、行政機関の広報紙・行政放送（オフトーク通信）、会員情報紙を広く活用した周知や誰もが気軽に見られるホームページを更新し、普及啓発に努めました。

また、1年を通じて成市町の社協だよりに広告の掲載も行いました。

- (1) イベント参加 ・女性をつどい（講演会・女性サークル活動展示会）中止
- (2) 会議の開催 ・シルバー事業推進委員会 開催回数 3 回
・女性会員活動委員会役員会 開催回数 4 回
- (3) 広報紙掲載 ・善通寺市・まんのう町・琴平町の広報紙 掲載回数 12 回
- (4) 会報の発行 ・発行回数 2 回
- (5) 有料広告掲載（補助事業）・1市2町社会福祉協議会「社協だより」掲載

6 安全・適正就業の推進

会員の就業中または就業途上における事故防止のため、安全パトロール指導員によるパトロールや、安全運転意識の向上を図るため、安全適正就業講習会の実施や、パンフレットの配布を行い、安全就業や事故防止対策に対する意識高揚に努めました。

- (1) 会議の開催 ・安全・適正就業委員会 開催回数 3 回
- (2) 講習会の開催 ・交通安全講習会 参加者 23 名
・交通安全啓発講義 参加者 20 名

7 調査研究

発注者や会員へのアンケート調査を実施し、シルバーに対する意見・要望・苦情を知ると共に会員から事務局に対して一層改善の要望や指摘を伺い今後の事業運営に反映させ、地域から信頼されるセンターを目指すため調査を実施しました。

8 就業開拓と就業率向上

コロナ禍の中、シルバー事業にふさわしい新規就業の開拓、高齢者のデジタル化の推進とITリテラシーの向上を、昨年度から継続しておこない、スマホ教室補助員などの人材育成・確保に努めました。

また、適正就業を目的として会員への公平・適正な就業機会を提供するため、LINEによる情報提供と友達登録によるコミュニティー向上に努め、約120名の登録を得ることが出来ました。

9 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に、各地区センターで毎月開催し、併せて所属地区に関係なく参加できることで、就業等に係る相談や情報提供の機会を増やしました。

- ・入会説明会の開催 開催回数36回、入会者数92名

10 社会参加活動の推進

会員の社会参加活動として「できることを」、「できる範囲内で」行う社会活動として、地域の公園や公共施設の清掃活動や福祉施設への慰問等を行い、会員相互の連携意識の高揚を図りました。

- (1) 清掃奉仕活動
 - ・善通寺地区センター 参加者22名
 - ・まんのう地区センター 参加者29名
 - ・琴平地区センター 参加者15名

- (2) 「タッチの癒し」施設訪問 新型コロナ感染症予防のため施設訪問見合わせ

11 その他の事業

高齢者を対象にしたシルバー交流サロン「仲善広場」の運営や、買い物弱者を対象にした「移動販売」を国・県の新型コロナ感染防止対策に沿った形で、地域住民とのふれあいを万全の態勢でおこない、従事者、利用者から一人の罹患者もなく実施することができました。

- (1) 「仲善広場」の実施 開催回数12回 利用者 延273名

※緊急宣言・まん延防止重点措置期間中は開催を見合わせ、感染予防措置を講じて開催

- (2) 「移動販売」の実施 販売日数119日 利用者 延5,539名

※事業目的により、市高齢者課と協議の上感染予防措置を講じて実施

II 法人管理事業

1 会員の状況

令和4年3月末現在の会員数は、男性629名、女性382名、合計1,011名となっています。地区別では善通寺地区506名、まんのう地区344名、琴平地区161名であります。

2 公益法人制度の対応

平成24年4月1日から移行した公益法人運営は、関係機関の指導、助言のもと、健全な財政運営を図り、適切な財産管理をおこないました。

3 定時総会等の開催

- ・会議名 定時総会 開催回数 1回
- ・会議名 理事・監事合同役員会 開催回数 6回